



路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町2-13(深津ビル)
〒101-0025 Tel (03) 3861-3656
Fax (03) 3861-3605

目 次

新年度を迎えるに当たり	理 事 岡田 栄一郎	1	
路面標示の消去について	高木 嗣朗	5	
平成11年道路交通事故統計	事 務 局	16	
会員名簿		19	
事務局便り	20	余滴	20



新年度を迎えるに当たり

理 事 岡田 栄一郎

平成12年度を迎えるに当たり、私ども会員は勿論のこと、関係方面の方々も新たな気持ちで一杯かと思えます。

平成12年度は政府の景気浮揚策の下に、一般会計の総額は84兆9,871億円と対前年当初比+3.8%の積極型予算が組まれております。また、公共事業費は9兆4,307億円と前年度当初並みが確保されており、その中でも道路整備事業費は、2兆7,137億円と前年度当初に比べ若干伸びを見せております。道路関連事業に携わる者としては、その執行が確実に進められることを期待するところであります。

経済企画庁の発表による国内総生産（GDP）における1999年の状況は次のようになっています。

1999年	1～3月期	対前期比+1.5%
	4～6月期	+1.0%
	7～9月期	-1.0%
	10～12月期	-1.4%

これにより、99年度の経済成長率を前年度比+0.6%とする政府経済見通しは、現在その達成が微妙な情勢ではある。また一方、これを99年の暦年成長率としてみた場合は、+0.3%となり、98年の-2.5%からは2年ぶりにプラス成長を回復したことになる。

これは98年4月と11月に事業規模40兆円の総合経済対策と、60兆円の公的資金導入による金融システム不安の払拭、財政構造改革法の凍結等が行われ、平成11年には公共投資の増大、住宅減税や低金利に支えられ、住宅投資の大幅増、貸し渋りの緩やかな緩和、株式市場での株価回復による資金面での流動性制約の緩和が生じ、資産効果の実体経済への好影響を与え、アジア経済の回復基調に伴う輸出増等によるものなどがプラス要因として働いた要素であろうし、実体経済は上向きになりつつあるのではなかろうか。

しかし、昨年から今年にかけ、第一勧業銀行、富士銀行、日本興業銀行が業務の全面提携を発表し、総資産141兆円に達する世界最大のメガバンク誕生に向けて動きだし、また、旧財閥の枠組みを越えた住友銀行、さくら銀行の統合、そして三和銀行、東海銀行、あさひ銀行の統合など、大手銀行の統合が進み、また更に、地方銀行にもその動きが見られる。他方、鉄鋼業界に於いても新日鉄と住友金属のコスト削減のための業務提携、三井物産、三菱商事に於ける合併会社の設立等、従来常識では考えられない合従連繋は枚挙にいとまがない。「大きい事は良い事だ」の一言では片付け

路面標示用塗料

非リブ式高視認性路面標示用塗料

アズマライン ハイグリップ

道路関連資材・交通安全用品全般

 **セイトー化成株式会社**

本社・工場 〒421-0113 静岡県静岡市下川原3555番地
TEL 054-258-5561

支店・営業所 東京・大阪・九州・静岡・北陸・東北・北海道

られない、世界的な競争激化の中での生き残りをかけた企業の連合、経済再編が行われている。

世界の潮流の中で合併、吸収、再編は不可欠であろうと思われるが、合併、再編の結果の整理統合は、効率化のための人員整理にも繋がり、失業率（現在4.6%）の増加にもなりかねないと危惧される。

また、設備投資も回復の兆しはあるものの、情報関連投資に偏ったものであり、全体の底上げ基調には至っていない。更に、地方財政に於いては、税収不足からの緊縮財政のもと、いぜん厳しい状況が続いている。

この様なことから、景気は上向きにむかいつつあるといわれる反面、今一つその実感が持てないのは、私だけではないのではないのでしょうか。

しかし、政府の諸施策のもと景気は上向くと信じ、今は経済再生に向けての生みの苦しみの時期と受け止め、新年度を迎えていきたいと思えます。

第6次交通安全基本計画は、平成12年の交通事故による死者数を9,000人以下をすることを目標としておりますが、平成11年の交通事故による死者数は9,005人と対前年比-206人と4年連続で対前年を下回ってきており、今一步のところに戻っております。しかし、その反面交通事故による負傷者数は、1,050,398人と前年比+59,723人(+6.0%)となっており、事故発生件数共々増加している状況下にあります。死者数は減少しているが事故件数や負傷者数が増加していることは、車の安全性の向上、救助救急体制の整備等に負うところが大きい反面、交通安全施設の整備保全においては、まだまだ充分とは言えないのではないのでしょうか。

また、死亡事故件数を道路形状別に見ますと、交差点内（含 付近）の事故が全事故の45.2%と多く、更には、夜間の事故が54.9%を占めている事などから、交通安全施設の整備保全やその対策が必要と考えます。

更には、これからの高齢化社会を迎え、免許保有者の高齢化が進むことを考えれ

各種規格目録表示資料

同業・夜間監視認許
同業
同業・夜間監視認許

ライオンファルト
ライオンファルト
ライオンファルト

ライオンファルト®大崎工業株式会社

本社 〒593-8311 大阪府堺市上89番地
TEL 0722-72-1453 (代)

営業所 〒144-0033 東京都大田区東糀谷4-1-4
TEL 03-3743-3004 (代)

ば、「見やすい、判断しやすい路面標示」が極めて重要であります。幸い、一部の所轄においてはコミュニティ・ゾーンの形成に伴い、良く見える高輝度標示材の採用を積極的に取り入れていく気運も見られます。過日の某テレビ局放送の中で、左折禁止マークが不適確で違反左折車や事故が多発していた個所に、路面標示の設備仕様を変えたところ事故がゼロになったとの報告も聞いております。いかに、路面標示（マーク）が重要であり、その効果が大きいかの一例であると思えます。

関係諸官庁におかれましては、交通安全を確保する手段のひとつとして「視認性の低下した路面標示の速やかな塗り替え」や「高視認性の有る高輝度標示材等の積極的な採用」を頂くことが、望まれるところであります。

私どもの仕事は、今もてはやされているIT（情報技術）等の先端産業ではありませんが、当業界の大きな目的は道路交通における安全確保への寄与であり、私どもは交通安全上不可欠な、また、重要な部分を担当させて頂いていると自負を持っております。これからも、交通安全事業にかかわる者として、交通安全事業を通じて社会に貢献できるよう微力を尽くして行く所存であります。

（3月中旬 記）

セイトー化成株式会社 常務取締役東京支店長



キクテックは全国ネットのサービス網を通じ、美しく統一のとれた、安全な道路づくりに貢献するために、より豊かな公共環境を表現する企業として、21世紀への飛躍をめざします。

公共環境を表現する
株式会社 **キクテック**

本社 〒457-0836 名古屋市南区加福本通1-26
TEL. 052-611-0680(代) FAX 613-3934

路面標示用塗料 **キクスイイン**（溶融用）・**キクスイ**ペイント（常温用・加熱用）

路面標示の消去について

高木 嗣朗

1. はじめに


路面標示の工事には、道路状況の変化や規制変更などに伴う既設標示の消去作業がある。消去の方法にはいくつかあるが、最も一般的で多くの場合に使用されているのは、硬質金属の回転歯などで衝撃を与え、物理的に削り取る方法及び、ガスバーナーを用いて標示材を加熱し、熔融した塗膜をケレン棒、ワイヤーブラシなどで除去して路面のアスファルトと同化させる方法のいずれかか、或いは、この両者を複合させたものである。これらの方法の良いところは、使用する機械、工具が比較的安価であり、作業が簡便であるため、誰にでもできることである。しかし、塗膜部分のみを限定して削ったり、ガスバーナーで加熱することは現実にはできないことであり、路面の損傷を避けることはできない。

また、最近では、排水機能を持たせた高機能舗装（排水性舗装、消音舗装などと言われている）の路面が増えてきている。この排水性舗装の上に施工された路面標示は、路面の凹部や空隙に塗料が入り込むため回転歯による切削や、バーナー加熱方式では路面を大きく損傷させてしまうか、標示の表面を一部削り取る程度で視認機能を残した仕上がりとなって、歩行者やドライバーに誤認され、通行時瞬時の判断に影響を与えてしまう。

本稿では、路面標示の消去方法について、排水性舗装への対応も含めて以下に記述するものである。

信号のブランド

ボンライン

 信号器材株式会社
〒211-8675 川崎市中原区市ノ坪160 ☎044(411)2191

2. 消去方法について


消去には、路面標示の施工時に仕上げ等で部分的にタガネとハンマーを使用して行うハツリ作業もあるが、ここでは標示全体を消去する場合の方法について紹介する。

(1) 黒色ペイントによる塗装処理方法

これは、路面の色に近いグレーまたは黒色の路面標示用塗装を用い、ローラー刷毛や溶融施工等で既設の標示を塗りつぶす方法である。消去作業の中では最も簡単な方法であり路面を傷めることもないが、車両の通過とともに黒色ペイントが摩耗して既設の標示が露出してしまうため、暫定的な方法としてしか用いることができない。



写真 (1) - 1 黒色ペイント（常温）による塗装作業



ATOMIX

さらに一歩。
人と環境の共生に向けて。

アトミクス株式会社 (旧社名：アトム化学塗料株式会社)
本社/〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111 FAX.03-3968-7300

(2) ガスバーナーによる溶融、燃焼方法

この方法は、最も一般的に行われている方法の一つでガスバーナーによって塗膜を加熱溶融または燃焼させて、ケレン棒やワイヤーブラシを用いて除去する方法である。

簡単な方法ではあるが溶融、燃焼物を取り除くのに手間がかかるので作業能率はあまり良くない。通常は摩耗して薄くなった標示の消去や、他の方法で消去した後残った部分の消去を行う場合が多い。

また、ガスバーナーによって加熱するため、アスファルト分の劣化や骨材の弛みといった、路面への損傷も無視することはできない。



写真(2)-1 ケレン棒による塗料の除去



写真(2)-2 ワイヤーブラシによる均し作業

バーナーによる消去作業の例

路面標示用塗料

トアライナー

MR(溶融)・P(ペイント)

株式会社 トウペ

本社/堺市築港新町1丁5番地11 〒592-8331

☎0722(43)6419

支店/東京都中央区日本橋室町2丁目3番14号(古河ビル)

☎03(3279)6441(大代)

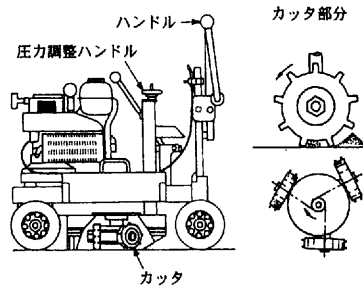
〒103-0022



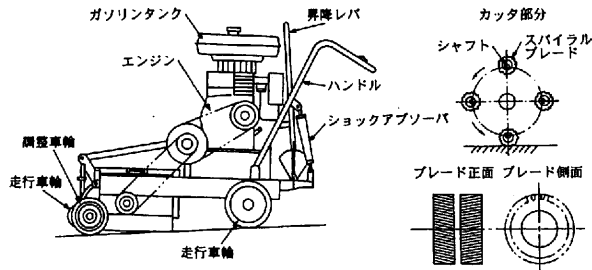
(3) 機械的衝撃による切削方法

これは、超硬合金でできた回転式カッターを取り付けた切削機によって、塗膜を削り取る方法である。2～3個のカッターを取り付けたローターをエンジンの駆動で高速回転させ、カッターについているピンや刃による打撃や引っ掻きなどの効果で切削消去して行く。

この方法による消去は、作業が比較的簡単なうえ、処理スピードも速いので最も多く行われている方法である。しかし、一般に騒音が大きく、切削が路面にまで達して損傷させてしまうこともあるため、それぞれ機種によってカッターブレードの形状や切削部分の機構などに路面への影響を小さくしたり、騒音を減少させるための様々な工夫や開発がなされている。



図(3)-1 切削機の例〔1〕



図(3)-2 切削機の例〔2〕

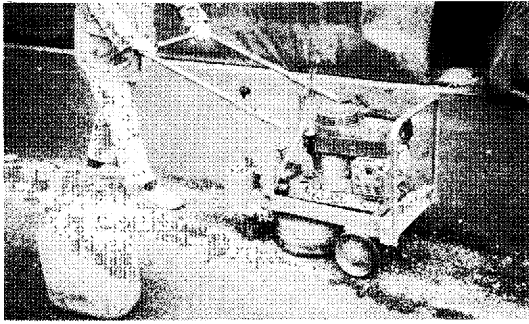
路面標示用塗料

タイヨーライン (溶融型)
 マークラインC2000 (常温型)
 マークラインH5000 (加熱型)

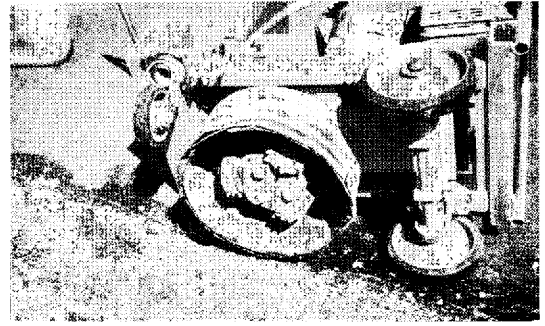


太洋塗料株式会社

本社 〒144-0033東京都大田区東糀谷6-4-18 TEL03-3745-0111(代)
 第2工場 〒144-0033東京都大田区東糀谷5-8-3 TEL03-3745-3921



写真(3) - 1 切削機による消去作業



写真(3) - 2 切削機用カッター

上記の3種類の方法が、現在一般的に行われている消去方法である。しかし、これらの方法（暫定的な黒色ペイントによる方法は別として）では、排水性舗装のような高機能舗装上の標示を消去することはできず、消去が不完全な状態で残るか、舗装をひどく損傷してしまう結果になる。そこで、高機能舗装へも対応可能なブラストによる消去方法のいくつかについて以下に述べることにする。

(4) ウォーターブラスト（ウォータージェット）方法

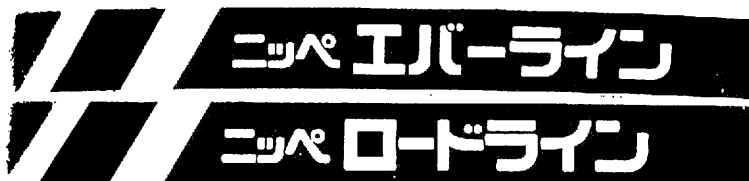
回転するノズルヘッドから高圧水を噴射することにより、塗膜をハツリ及び剥離させる。

水圧を調整することにより、剥離強さを加減できる。

水を使用するため、排水性舗装上での使用水および消去した標示材の回収ロスが大きくなる（本来であれば、使用水及び消去した標示材は完全に回収すべきものである）。その反面、排水性舗装の空隙の清掃になり、排水機能を維持する効果もある。

使用する水の量は、作業1時間当たり約1トン程度である。

「安全・円滑・快適」な道づくりを目指して



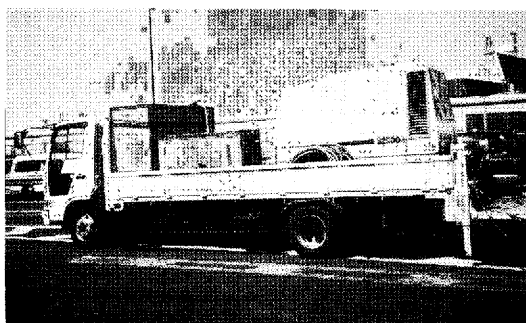
 **日本ライナー株式会社**

〒105-0014 東京都港区芝二丁目17番11号 パーク芝ビル
PHONE: 03-5419-9681 FAX: 03-5419-9688

回収した廃水は、中和処理を行ない廃棄する。また、現場で中和処理を行ない、汚泥を分離して水を再利用することも可能である。



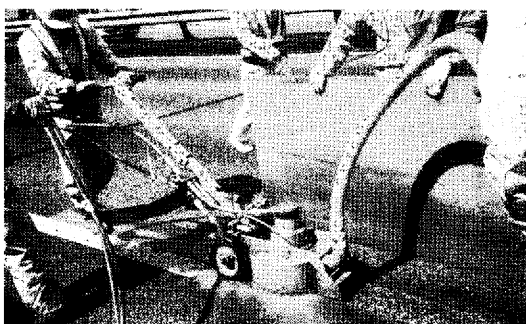
写真(4) - 1 超高压水吐出消去装置



写真(4) - 2 超高压水発生装置及び搭載車両



写真(4) - 3 吸引回収車両



写真(4) - 4 消去作業(溶融噴射塗料)

交通安全

に貢献する

エースライン®

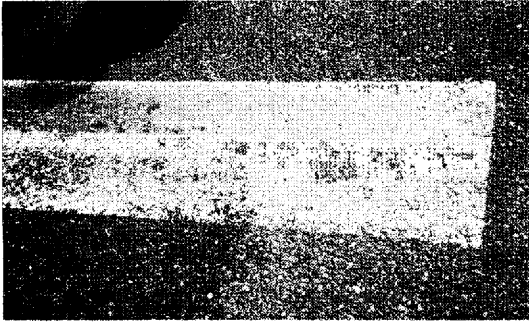
反射材配合の
溶融施工タイプ
(JIS K5665 適合品)

ユニライン®

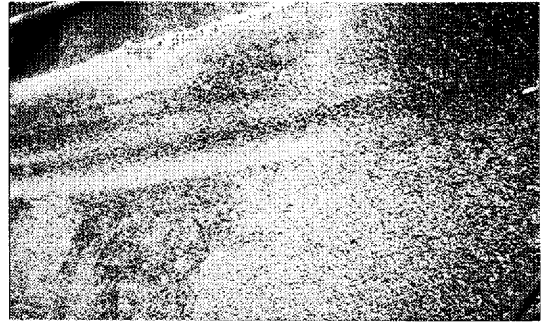
常温施工・加熱
施工タイプ
(JIS K5665 適合品)

日立路面標示・区画線用塗料

日立化成工材株式会社 (営業本部) 〒113-0034 東京都文京区湯島3-31-6 ☎(03) 5688-5330



写真(4) - 5 消去前




写真(4) - 6 消去後(仕上がり状況)

(5) プラスチックビーズブラスト方法

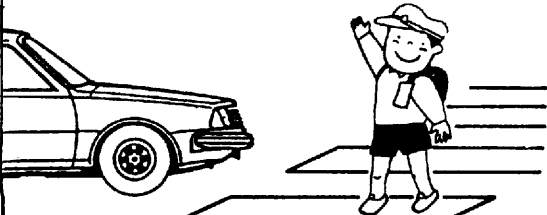
表面形状が鋭利多角な、1～3mm程度の大きさのプラスチックビーズを圧縮空気で噴きつけて塗膜を剥離し、同時にバキューム方式で吸引回収する。回収したものは、剥離屑とプラスチックビーズに分離され、プラスチックビーズはリサイクル使用する。

プラスチックを使用しているため、路面への影響は最も小さく、騒音も比較的小さいが、剥離作業の処理スピードは他のブラスト方法に比べると遅い。また、使用しているプラスチックビーズの価格がやや高価である。

各種塗料製造販売
道路標示材製造及施工



富国合成塗料株式会社

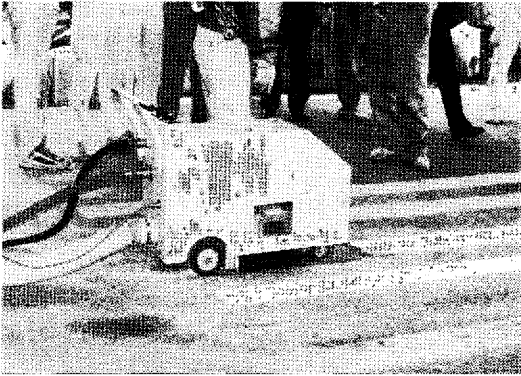


フコシン

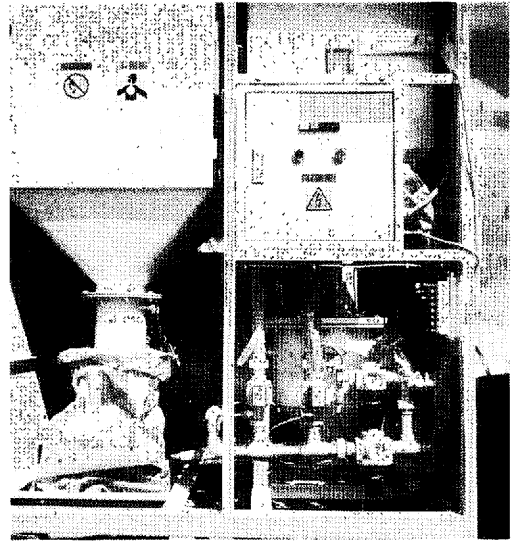
〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目7-19
(本社) TEL (078)575-6600 (代)

〒651-2235 神戸市西区栢谷町長谷佃井南 145
(工場) TEL (078)991-0158

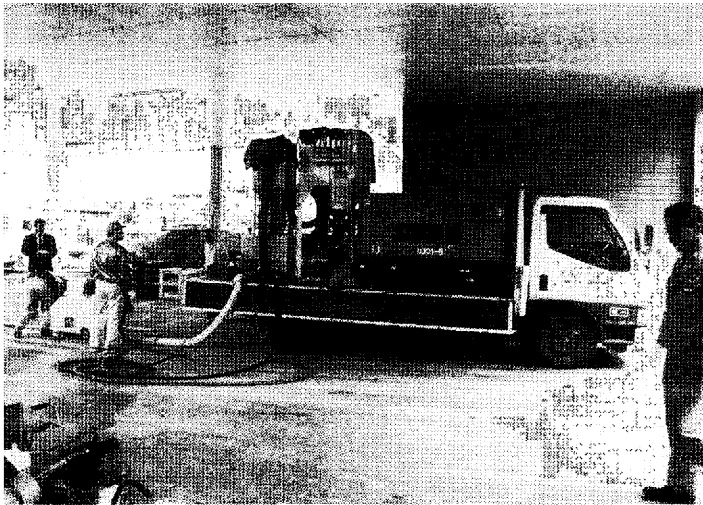
(支店)大阪 (営業所)東京・名古屋・豊橋・姫路



写真(5) - 1 自走式消去装置



写真(5) - 2 噴射及び集塵装置



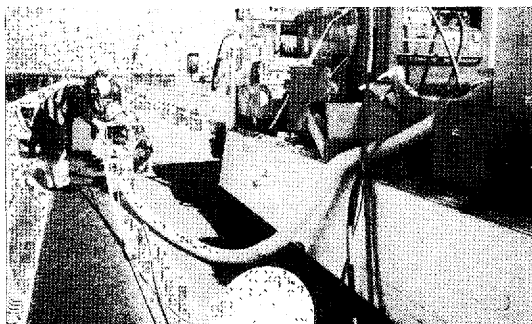
写真(5) - 3 装置、発電機、コンプレッサー一式搭載車両

高性能溶着式路面標示用塗料

マジライソ

藤木産業株式会社

〒592-8331 大阪府堺市築港新町2-6-50
TEL. 0722-44-5588(代) FAX. 0722-44-6639



写真(5) - 4 消去作業 (加熱ペイント)



写真(5) - 5 仕上がり状況

(6) ショットブラスト方法

直径1～2mm前後の細粒鋼球をローター方式で投射することにより、塗膜を剥離させ、同時に吸引回収する。回収したものは、剥離屑と鋼球に分離し、剥離屑は集塵機へ吸引され、鋼球は再使用される。また、回収しきれずに空隙に残った鋼球は、磁石によって回収される。

この方法は、ブラスト方法の中では処理スピードに優れている。



神東塗料株式会社

スーパーミライナー

(雨天夜間高視認性標示材)

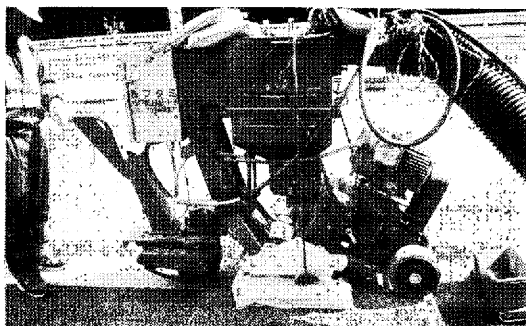
シントーライナー (熔融型)

シントーライナー (常温型, 加熱型)

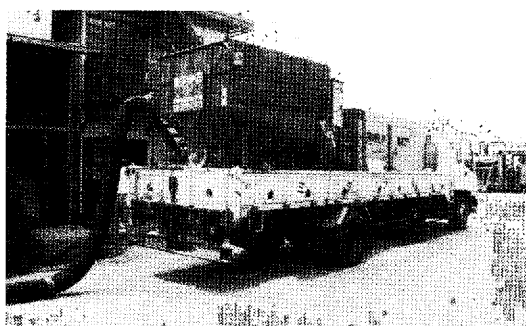
S P ロード (すべり止め塗料)

本 社 〒661-8511 尼崎市南塚口町6-10-73 (TEL (06)6421-9865)

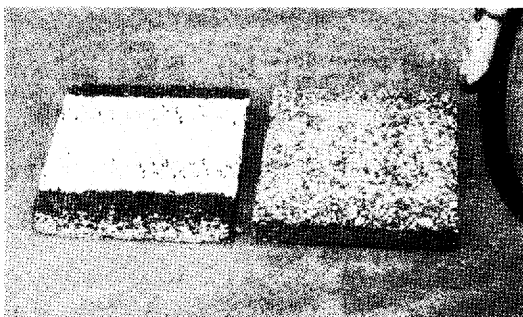
東京本社 〒136-0082 東京都江東区新木場4-12-12 (TEL (03)3522-2353)



写真(6) - 1 自走式消去装置



写真(6) - 2 装置一式搭載車両



写真(6) - 3 仕上がり状況 (溶融型塗料)



写真(6) - 4 仕上がり状況 (加熱ペイント)

プラストの材質としては他に珪砂、ガラスビーズなどの研磨材が利用されている。

総合力でニーズにお応えする セキスイ道路標示材

- 溶融タイプのジスライン
- 感圧貼付シートのジスラインDX
- 加熱融着シートのジスラインS

道路標示材の専門メーカーとして
セキスイは豊富な経験と技術で
優れた製品を創り、交通安全に寄与しています。
耐久性・耐摩耗性・鮮明さは高い評価をいただいています。



交通安全・環境保全に貢献する
積水樹脂株式会社

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目4番4号

(堂島関電ビル6階) TEL 06(6365)3244



ジスライン

3. まとめ

以上、いろいろ述べたがブラスト法による消去方法は、圧力を変化されることでハツリ強さを調節でき、機械的切削方法などに比べて、路面を傷めることが少ない。また、粒子や水を噴きつけることによって剥離させるため、骨材の間の凹みや排水性舗装の空隙に入り込んでいる塗料も比較的無理なく剥がすことができる。しかし、作業に付帯する発電機や集塵機、コンプレッサーなど、装備が大きいため、専用の搭載車両が必要となり、さらに、水の運搬車、バキューム車などもあるため、作業以外に広いスペースを確保しなければならない。又、装置が非常に高価であり、費用コストが高くなるなどといったところに課題が残されている。

供用中の道路上におけるブラスト方式による標示の消去作業としては、改善すべき点が多々あるものの、現行の消去方法にはない優れたところも多い、又、今後、高機能舗装における塗り替え工事がますます増加するにつれて、ブラスト方式による消去方法がさらに普及し改善されて行くのではないかと思われる。

参考文献

改訂 路面標示ハンドブック（社団法人全国道路標識・標示業協会）平成10年

解説 路面標示材料（路面標示材協会）平成2年

（信号器材(株)開発技術本部第1G主任技師、路材協技術副委員長）

路面標示用塗料3種[レーンマーク]製造

レーンマーク工業株式会社

83年度中国通産局長表彰受賞
日本工業規格表示許可工場

〒731-1142 広島市安佐北区安佐町飯室字森城6864

TEL (082) 835-2511 (代)

平成11年道路交通事故統計

(警察庁交通局交通企画課資料より)

事務局

平成11年の道路交通事故は発生件数850,363件でこれによる死者数は9,005人、負傷者数は1,050,398人であった。

前年と比べ、死者数は206人(-2.2%)減少したが、発生件数では4万6,485件(+5.8%)、負傷者は5万9,723人(+6.0%)といずれも増加した。

交通事故による死者数は、平成8年以降4年連続して1万人を下回っているが、発生件数は7年連続して増加し、負傷者数は百万人を突破しワースト記録を更新した。

特に近年の道路交通事故の特徴は、年齢層別、状態別の死者数を見ると、最も死者の多いのは、高齢者の歩行中(65歳以上 1,558人)で、次いで若者の自動車乗車中(893人)となっており、両者で全体死者(9,005人)の27.2%を占めている。

その主な事故内容は、次のとおり。

1. 交通事故発生状況

区 分	件数・人数	1日平均件数・人数	前年同期間比
発生件数	850,363	2,329.8	+46,485 (+5.8%)
死者数	9,005	24.7	-206 (-2.2%)
負傷者数	1,050,398	2,827.8	+59,723 (+6.0%)

2. 状態別死亡事故件数

状態別	人数	構成比(%)	特 長
自動車	3,872	43.0	16~24歳 893人を占めている
歩行中	2,570	28.5	65歳以上 1,558人を占めている
自転車乗用中	1,032	11.5	65歳以上 597人を占めている
原付乗車中	773	8.6	65歳以上 273人を占めている
自二乗車中	743	8.3	16~24歳 355人を占めている

3. 昼夜別死亡事故件数

昼 夜	件 数	構成比(%)	前年同期間比(件)
昼	3,932	45.3	-4
夜	4,748	54.7	-113

4. 都道府県別交通事故発生状況

1) 多いところ

「発生件数」

都道府県	件数	増減数
東京都	74,211	+10,338
神奈川県	64,907	+4,078
大阪府	58,505	+2,030
福岡県	50,717	+1,349
愛知県	50,287	+2,420
埼玉県	43,837	+3,791
兵庫県	37,194	-277

「死亡事故」

都道府県	死者数	増減数
北海道	536	+3
千葉県	422	+18
埼玉県	410	+41
東京都	398	+27
愛知県	374	-49
大阪府	367	-27
静岡県	359	+72

「負傷者数」

都道府県	負傷者数	増減数
東京都	86,058	+11,889
神奈川県	79,284	+4,917
大阪府	70,014	+2,467
福岡県	62,144	+1,819
愛知県	60,683	+2,150
埼玉県	54,788	+4,385
兵庫県	45,639	+26

都道府県別交通事故発生状況

管区	都道府県	発生件数			死者数			負傷者数		
		11年	増減数	増減率	平11年	増減数	増減率	11年	増減数	増減率
北海道	札幌	19,266	1,031	5.7	248	22	9.7	23,925	924	4.0
	函館	2,510	32	1.3	51	-4	-7.3	3,305	33	1.0
	旭川	3,448	258	8.1	85	-14	-14.1	4,739	434	10.1
	釧路	2,853	63	2.3	106	-6	-5.4	3,726	34	0.9
	北見	1,489	29	2.0	46	5	12.2	2,038	77	3.9
	計	29,566	1,413	5.0	536	3	0.6	37,733	1,502	4.1
東北	青森	8,744	392	4.7	130	-1	-0.8	10,480	448	4.5
	岩手	5,441	-42	-0.8	128	-6	-4.5	6,837	78	1.2
	宮城	12,232	379	3.2	164	-13	-7.3	15,551	2,433	18.5
	秋田	4,864	78	1.6	102	14	15.9	5,839	123	2.2
	山形	6,332	-179	-2.7	104	-4	-3.7	7,968	-222	-2.7
	福島	13,799	611	4.6	171	-14	-7.6	16,479	715	4.5
	計	51,412	1,239	2.5	799	-24	-2.9	63,154	3,575	6.0
東	東京	74,211	10,338	16.2	398	27	7.3	86,058	11,889	16.0
関東	茨城	23,869	702	3.0	357	4	1.1	30,512	984	3.3
	栃木	14,398	614	4.5	211	15	7.7	18,437	947	5.4
	群馬	18,357	1,172	6.8	194	-14	-6.7	23,795	1,493	6.7
	埼玉	43,837	3,791	9.5	410	41	11.1	54,788	4,385	8.7
	千葉	33,907	2,433	7.7	422	18	4.5	43,442	3,362	8.4
	神奈川	64,907	4,078	6.7	336	-9	-2.6	79,284	4,917	6.6
	新潟	13,734	203	1.5	221	-46	-17.2	17,283	640	3.8
	山梨	6,636	18	0.3	83	-25	-23.1	8,779	-7	-0.1
	長野	13,978	625	4.7	213	4	1.9	18,275	867	5.0
	静岡	35,215	2,837	8.8	359	72	25.1	44,819	3,589	8.7
	計	268,838	16,473	6.5	2,806	60	2.2	339,414	21,177	6.7
中部	富山	7,788	263	3.5	99	17	20.7	9,225	353	4.0
	石川	9,250	280	3.1	100	0	0.0	11,443	349	3.1
	福井	5,117	400	8.5	101	17	20.2	6,239	370	6.3
	岐阜	13,681	823	6.4	202	-47	-18.9	18,780	1,347	7.7
	愛知	50,287	2,420	5.1	374	-49	-11.6	60,683	2,150	3.7
	三重	11,333	142	1.3	204	-24	-10.5	14,762	219	1.5
	計	97,456	4,328	4.6	1,080	-86	-7.4	121,132	4,788	4.1
近畿	滋賀	8,764	61	0.7	141	-1	-0.7	11,491	65	0.6
	京都	18,447	490	2.7	153	-32	-17.3	22,787	766	3.5
	大阪	58,505	2,030	3.6	367	-27	-6.9	70,014	2,467	3.7
	兵庫	37,194	-277	-0.7	309	-15	-4.6	45,639	26	0.1
	奈良	8,730	280	3.3	94	0	0.0	10,176	255	2.6
	和歌山	8,563	313	3.8	96	-1	-1.0	10,422	220	2.2
	計	140,203	2,897	2.1	1,160	-76	-6.1	170,529	3,799	2.3
中国	鳥取	2,677	-169	-5.9	58	-6	-9.4	3,413	196	6.1
	島根	3,119	128	4.3	73	-6	-7.6	3,641	173	5.0
	岡山	14,874	2,043	15.9	185	-57	-23.6	18,322	2,656	17.0
	広島	19,664	847	4.5	222	-23	-9.4	25,121	1,073	4.5
	山口	10,886	549	5.3	183	12	7.0	13,047	568	4.6
	計	51,220	3,398	7.1	721	-80	-10.0	63,544	4,666	7.9
四国	徳島	6,262	89	1.4	77	-22	-22.2	7,808	184	2.4
	香川	8,226	805	10.8	124	-14	-10.1	9,191	985	12.0
	愛媛	11,061	-84	-0.8	165	25	17.9	13,649	22	0.2
	高知	5,417	37	0.7	84	8	10.5	6,486	139	2.2
	計	30,966	847	2.8	450	-3	-0.7	37,134	1,330	3.7
九州	福岡	50,717	1,349	2.7	310	-42	-11.9	62,144	1,819	3.0
	佐賀	5,685	717	14.4	116	14	13.7	6,738	743	12.4
	長崎	7,973	292	3.8	71	-21	-22.8	10,379	435	4.4
	熊本	12,233	521	4.4	165	10	6.5	15,733	808	5.4
	大分	7,150	132	1.9	99	16	19.3	9,350	114	1.2
	宮崎	6,546	2,457	60.1	103	23	28.8	8,083	3,054	60.7
	鹿児島	12,283	-15	-0.1	126	-12	-8.7	14,830	-30	-0.2
	沖縄	3,904	99	2.6	65	-15	-18.8	4,443	54	1.2
	計	106,491	5,552	5.5	1,055	-27	-2.5	131,700	6,997	5.6
合	計	850,363	46,485	5.8	9,005	-206	-2.2	1,050,398	59,723	6.0

路面標示材協会 会員名簿

(正会員)

五十音順

会 員 名	〒	主 な 所 在 地	同 左 電 話
アトミクス(株)	174-8574 364-0101	東京都板橋区舟渡3-9-6 埼玉県南埼玉郡菖蒲町昭和沼6	03(3969)3111 0480(85)8111
大崎工業(株)	593-8311 144-0033	大阪府堺市上89番地 東京都大田区東糞谷4-1-4	0722(72)1453 03(3743)3004
(株)キクテック	457-0836 106-0041	名古屋市南区加福本通1-26 東京都麻布台1-11-9	052(611)0680 03(3586)9788
信号器材(株)	211-8675 105-0003	川崎市中原区市の坪160 東京都港区西新橋1-12-10(虎の門ウイングビル)	044(411)2191 03(3503)3041
神東塗料(株)	661-8511 136-0082	兵庫県尼崎市南塚口町6-10-73 東京都江東区新木場4-12-12	06(6421)9865 03(3522)2353
セイトー化成(株)	421-0113 101-0042	静岡県静岡市下川原3555番地 東京都千代田区神田富山町24(神田富山町ビル)	054(258)5561 03(3251)2651
積水樹脂(株)	530-0047 105-0022	大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル) 東京都港区海岸1-11-1(ニューピア竹芝ノースタワー)	06(6365)3244 03(5400)1821
太洋塗料(株)	144-0033	東京都大田区東糞谷6-4-18	03(3745)0111
(株)トウベ	592-8331 103-0022	大阪府堺市築港新町1-5-11 東京都中央区日本橋室町2-3-14(古河ビル)	0722(43)6419 03(3279)6441
日本ライナー(株)	105-0014	東京都港区芝2-17-11(パーク芝ビル)	03(5419)9682
日立化成工材(株)	317-0051 113-0034	茨城県日立市滑川本町5-12-15 東京都文京区湯島3-31-6(大塚ビル)	0294(22)1313 03(5688)5330
富国合成塗料(株)	652-0816	神戸市兵庫区永沢町3-7-19	078(575)6600
藤木産業(株)	592-8331	大阪府堺市築港新町2-6-50	0722(44)5588
レーンマーク工業(株)	731-1142	広島市安佐北区安佐町大字飯室字森城6864	082(835)2511

(賛助会員)

加入順

会 員 名	〒	主 な 所 在 地	同 左 電 話
日本ガラスピース協会	153-0063	東京都目黒区目黒3-9-1(東芝パロティエ二(株)内)	03(3794)7131
日本ゼオン(株)	100-0005	東京都千代田区丸の内2-6-1(古河総合ビル)	03(3216)2342
東邦顔料工業(株)	174-0043	東京都板橋区坂下3-36-5	03(3960)8681
トーネックス(株)	150-8410	東京都渋谷区広尾1-1-39(恵比寿プライムスクエアタワー)	03(5778)5280
キクチカラー(株)	170-0002	東京都豊島区巣鴨3-5-1	03(3918)6611
三井化学(株)	100-6070	東京都千代田区霞ヶ関3-2-5(霞ヶ関ビル)	03(3592)4388
日本製袋(株)	150-0031	東京都千代田区岩本町2-4-3(太陽生命神田ビル)	03(3861)0020
丸善石油化学(株)	104-8502	東京都中央区八丁堀2-25-10	03(3552)9371
大日本インキ化学工業(株)	103-8233	東京都中央区日本橋3-7-20	03(3278)0122
(株)エヌ・アイ・シー	541-0048	大阪市中央区瓦町1-7-7(愛暖ビル)	048(662)6855

(H12年4月)

1. 正会員関係

○積水樹脂株式会社の技術委員は、齋藤 節男氏から
広島東城工場 技術課主任 広田 武氏となります（平成12年1月）

2. 賛助会員関係

○日本製袋株式会社の協会関係文書窓口担当は、佐々木 政廣氏から
営業本部部长代理 田野 剛氏となります（平成12年1月）

3. 路材協会報関係

No. 101（平成10年7月10日発行）「交通事故防止の試みについて」（濱松修）の問合せがありました。

それは「道路標示の有効性に関する調査研究報告書（I）（社団法人 日本交通科学協議会）：平成8年4月」等を引用した技術内容のもので、特に「道路標示の施工後の有効月数は、道路環境の違いにより差が有るものの、ほぼ9ヶ月から12ヶ月であり、理想的には9ヶ月程度で、遅くとも1年以内に視認性の低下している標示については、再施工（塗り替え）する事が望ましい。」と記述されている。

余 滴

平成12年度がスタートしました。

本年度の政府予算が早期成立（3月17日）した事から、平成11年度の第二次補正予算と合せて「切れ目のない景気対策が実施され、景気の本格的な回復軌道に乗る事が期待されています。

一方、地方自治体の平成12年度の予算は、対前年度比マイナス0.3%で、しかも、地方自治体独自の単独事業は、43都道府県が前年度より抑制しており、対前年比マイナス12.9%と言われている。しかしながら、歳入では、都道府県税が合計で3.0%（約16兆7百億円）増が見込まれており、微かな期待か、？。好転を期待したい。

他方、平成11年の道路交通事故による死亡者は、9,005人と対前年比-2.2%（206人）減少したものの、事故発生件数は850,363件で+5.8%（46,485件）増加し、更に負傷者数は1,050,398人、6.0%増（59,723人）と言う事から、その社会的損失額は大変大きなものと推測されます。

今年も、「春の交通安全運動（4.6~4.15）が実施され、交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールの遵守と、正しい交通マナーの実践が行われました。大いに効果を上げ、交通事故の減少への努力が図られています。

私共も、路面標示用塗料の品質・技術の向上を目指し、道路交通事故の減少を願い、更に努力しなければと、気持ちを新たに、新年度をスタートしたところです。（小林）